

なかの 市議会だより

7 月号

平成28年7月21日発行
No.45

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



2016 信州なかのバラまつり
5・28～6・12



● 市政一般質問

39件

決議	事件案	予算案	条例案
1件	2件	5件	6件
可決	可決	可決	可決

● 議案件数及び議決内容

会期	閉会	開会
19日間	6月21日	6月3日

6月定例会



電力自由化による新電力の導入について

町田 博文

質問 導入状況はどうか。

答弁 本年1月1日から高圧受電施設44施設のうち、30施設において導入した。

質問 その選定根拠は何か。

答弁 過去1年間の電気使用量から試算し、削減できる施設を対象とした。

質問 契約業者の選定及び契約方法はどうか。

答弁 専門的な知識を有し、新電力会社との交渉や申請手続等の業務を行うことができる電力サービスプロバイダー業者に委託をし、新

電力会社の選定を行っている。契約方法については、選定した新電力会社との随意契約で、契約期間は1年である。毎年、プロバイダーが経済性・安定性を考慮した電気事業者の選定、交渉を行い、プロバイダーが推薦した新電力会社と随意契約をすることとしている。

質問 経費削減状況はどうか。

答弁 平成28年1月から4月までの電気料金で400万円余の削減。プロバイダー業

務委託料を差し引いても265万円余の削減となる。

質問 今後の更なる導入方針はどうか。

答弁 引き続き、毎年の電気使用量による試算を続け、削減効果が見込める場合は切り替えていく。併せて本年4月から、低圧電力の施設についても、新電力会社への切り替えが可能となったので、コスト削減効果を十分に検証し、切り替えの可否を判断していく。

送電線と固定資産税について

質問 送電線による地役権が設定されている土地は、その使用には制限が課せられ価値が下がるのであるか

答弁 送電線による地役権が設定されている土地は、その使用には制限が課せられ価値が下がるのであるか

ら、固定資産税も下げるべきではないか。

答弁 中野市では、送電線の高さが非常に高く、著しく影響を受けているとは認められないと思われることから、評価額の補正を行っているが、今後は県内の他市の状況を勘案しながら検討していく。

質問 他の市町村の状況はどうか。

答弁 県下19市のうち、長野市、松本市、上田市、岡谷市、塩尻市、千曲市、安曇野市の7市が所要の補正を実施している。北信地方事務所管内では、補正を行っている市町村はない。

質問 相続税の扱いはどうなっているか。

答弁 地役権が設定されて



いる土地の評価は、建築制限を受ける場合は3割、建築が全くできない場合は5割の減額をして評価しているとのことである。

その他の質問

公共施設への洋式トイレ設置状況について
若者活躍社会の実現について
B型肝炎ワクチンについて
「まいさぼ中野」による支援事業について
食品ロスの削減について

組みは、
答弁 両陛下は、本年6月4日、本市を初めて公式にご訪問された。高野辰之博士が、昭和天皇へ国文学の御進講を行った日が、昭和3年6月4日であることを伝えられ、大変驚かれておられた。ご訪問の記念碑は積極的に検討していく。



市長の政治姿勢について

高野 良之

質問 市長として1期目に感じたことは。

答弁 市長に就任して以来、交流と連携と協働を基本と

したまちづくりに取り組んできた。責任の重大さを感じており、現在も初心を忘れていない。暮らしに係る

したまちづくりに取り組んできた。責任の重大さを感じており、現在も初心を忘れていない。暮らしに係る

観光について

質問 2期目の市政運営目標は、どのようなものか。

答弁 本年11月までの残された任期を、目の前のやるべきことに全力で努めていく。

質問 信越自然郷への取り組みはどうであるか。

答弁 信越9市町村広域観光連携会議において、広域観光パンフレットの制作、飯山駅から近隣市町村への二次交通等の案内などを行っている。

質問 天皇皇后両陛下が、高野辰之記念館に御来館された。今後の記念館の取

組みは、
答弁 両陛下は、本年6月4日、本市を初めて公式にご訪問された。高野辰之博士が、昭和天皇へ国文学の御進講を行った日が、昭和3年6月4日であることを伝えられ、大変驚かれておられた。ご訪問の記念碑は積極的に検討していく。

買い物弱者について

質問 年々、高齢者は増加傾向である。自動車免許証の返納者は何人位いるのか。
答弁 平成27年は65人、本年は5月までで31人が返納されている。

質問 高齢者の買い物弱者への対策はどうか。
答弁 買い物弱者に対する支援は、配食サービス、食料品等の宅配サービスがある。市内商業者が行う買い物弱者の送迎は、先進地の事例等の情報収集に努め、研究したい。

災害時の危機管理について

質問 地震に対する危機管理体制の強化・見直しは。
答弁 市では医薬品の備蓄は行っていない。食料品や生活必需品については、災害発生直後の必要量を備蓄

している。引き続き、万全な体制を整えていく。
質問 千曲川により分断されている当市の危機管理はどうであるか。
答弁 本庁と豊田支所がそれぞれ主体的に活動し、情報の共有・連携を密にして対応する。



安倍内閣の政治姿勢等に対する市長の見解について

青木豊一

質問 安倍内閣はアベノミクス効果を声高に叫ぶが、国民の暮らしは深刻で改善されていない。日本共産党のアベノミクスに対する発表への市長の見解はどうか。
答弁 日本共産党の志位委員長による内閣不信任案賛成討論のうち、安全保障関連法に関しては、その運用の範囲を国民が注視しなればならないと考える。

質問 週刊誌によると日本の富裕層の株式配当収入は、1位92億4千820万円、2位80億4千545万円、3位32億1千259万円、4位25億6千

560万円、5位19億621万円である。国民の生活実態と富裕層に大きな格差がある。安倍首相はアベノミクス効果というが、国民所得の増加分の約半分は円安、物価高によるものである。第2次安倍内閣発足時からGNIは35兆5千億円増加したが、物価上昇分で12兆2千億円、円安効果分で6兆5千億円である。アベノミクスは、庶民の暮らしを壊す要因ではないか。
答弁 内部留保の活用やその分配等については、国民全体の経済の活性化の観点

から新しい策を期待している。
質問 安倍首相は、国民所得が増えたと言うが、物価上昇と昨今の円高で18兆7千億円程減少。有効求人倍率は24年ぶりの高水準と言うが実際は就職者が9千人減った。3年連続賃上げしたが実質賃金は5年連続減であり、年収400万円の労働者で年間20万円も収入が減少した。安倍政治の失政である。市長の見解はどうか。
答弁 今後、経済産業構造が変わっていく。将来の国の経済産業構造を見極め、新たな経済政策を望みたい。
質問 富が庶民に分配されないことが最大の問題である。地域の実情を県等を通じて、国の施策に反映させるべきではないか。
答弁 各種会合等を通じて

地方の現状、意見等を国に申し上げていきたい。
質問 保育士等の賃金引き上げを速やかに行うべき。
答弁 国の基準等が示されれば、速やかに対応したい。

その他の質問
 子どもの医療費窓口無料化について
 千曲川築堤の今後の対応について
 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針(案)の修正案に対する教育委員会の対応について
 投票率の向上及び高校生の選挙への参加増をどう図るか

(注)
 GNI 国民総所得のこと。
 GNP 国民が1年間に産み出した財とサービスの付加価値の合計。
 GDPに(国民総生産)に海外からの純所得を加えたものに等しくなる。



新市庁舎の実施設計について

小林 忠一

質問 市庁舎及び市民会館の問題も、8年間費やし、ようやく市庁舎の実施設計及び施工の包含発注がなされ、前進を始めた。進捗状況はどうか。

答弁 現在、平面計画の調整、隣接地との境界確認など建築確認申請に必要な業務を進めている。

質問 中野市の総面積の約30%は山林である。地域産木材を用い、中野市の花・鳥等をデザインした化粧パネルや木板の組合せ等による中野市を代表する眺望の

シルエットを応接室、ホール等へ設置してはどうか。

答弁 木材の調達やその量と活用方法、工事価格などの課題もあるが、提案事項も含め検討する。

質問 県補助事業「信州の木活用モデル地域支援事業」等を活用してはどうか。

答弁 特定財源の確保にもつながる。木材の活用方法及びその量が明確になったところで、県と相談したい。

質問 設計への省エネ化及び脱CO₂化の反映状況はどうか。

答弁 建物の方位に応じた日射抑制、複層ペアガラスによる高断熱と高気密化及び階段室の煙突効果を利用した自然換気による空調負荷低減、太陽光発電、LED照明などの採用を予定。

質問 基本設計に対する実施設計及びVE提案の状況はどうか。

答弁 床、天井、外壁などの仕上げや施工方法などにおいて提案を受けている。今後、機能やコストの観点から採用を検討する。

質問 災害発生時の報告・連絡用機器の迅速な設置及び災害対応業務の流れを考慮されているか。

答弁 4階会議室を災害対策本部室としたい。防災無線室を隣接配置することで連携強化が図られる。市長

室、副市長室、危機管理課執務室との同一階を予定し迅速な対応が可能である。

新庁舎建設工事に係る市内事業者を対象とした大商談会について

質問 結果及び商談成立への市の助言・仲介はどうか。

答弁 施工者が実施し、30人が来場した。市では広報紙等により周知や会場確保に協力した。商談成立はなかったとのことである。下請資材調達等に市内事業者の活用をお願いしている。

新庁舎建設工事に係る記念モニュメントの設置について

質問 市民参加による記念

モニュメント事業、既存の遺構等の対応策はどうか。

答弁 モニュメント事業は配置など全体を考慮した中で検討する。既存の遺構は今後の景観等を考慮し、移設か現状残置かを判断する。

(注) VE提案

製品やサービスの持つ価値を機能・品質とコストの両面で総合的に優れたものにする提案のこと。目的の性能や機能を低下させずに別の方法や手段を提案してコストダウンの実現や総合的な価値を上げることが目的とされている。



中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針(案)の修正案について

松野 繁男

質問 市長は、総合教育会議の中で、見直し案について発言されている。見直し

に対する考えは。また、人口増加に向けた地域振興策にどう取り組まれるか。

答弁 子ども達は、人間関係の形成の上で、より多くの子とも達と交わることが必要。今回の修正案を着実に、理解を得ながら進めることが最善と考える。人口

増加策は長期的な課題であり、各地域の状況を把握しながら取り組んでいく。

質問 豊井・永田地区の説

明会を終えて、統合に対する市民の理解度はどうか。

答弁 統合に対して、理解は進んでいると考える。

質問 決定時期を9月とした根拠は何か。

答弁 修正案の市民説明会及びパブリックコメント終了後、教育委員会で協議する時間を踏まえ、目安とし

て9月とした。

質問 少人数学級の問題点とその対応策はどうか。

答弁 学習集団が固定しがちで、子ども同士の交わりが少なく、多様な見方や考え方が出にくい。また、班編成の授業ができない。友達関係がこじれると、解決策が見つかりにくく、子ども

も自身が苦しさを感じる。男女比の割合が崩れてしまいう等が挙げられる。現在、対応策として、同じ中学校区の小学校間で、合同授業や海の学習等、連携教育にも力を入れている。

質問 豊田中学校は築44年が経過し老朽化も目立つ。子ども達にとって、より良い教育環境を整えるのであれば、永田小学校に統合す

べきではないか。

答弁 検討課題としたい。

豊田学校給食センターの廃止について

質問 廃止時期は、検討されているのか。

答弁 現時点で廃止の決定はしておらず、平成29年度に方針を出す。平成28年度、29年度は現状を維持する。

地域おこし協力隊について

質問 今後の増員計画は。

答弁 将来的な隊員の定住も見据え、今後も制度を活用する。

一般県道豊田中野線について

質問 工事の進捗状況と今

後の市の取り組みはどうか。

答弁 平成28年度は壁田側の開削工事と、橋梁の詳細設計が実施される予定である。開通時期は示されていないが、中野地域と豊田地域を結ぶ重要な路線であるため、期成同盟会と共に早期の完成を強く要望していく。

JR飯山線の活用について

年6月の保育標準時間の利用者数は366人、保育短時間は767人である。保育短時間と比べて保育標準時間の方が40人少ない状況であり、昨年とほぼ同じ状況にある。

質問 非正規雇用が4割を超え、保護者の多様な働き方が増える中、0歳児保育のニーズも切実である。0歳児保育の実態と今後の対応はどうか。

答弁 安全に保育できる月齢を概ね6カ月からとしている。今後は6カ月前の、産休明けの保育も準備を進めていく。

農業振興について

質問 農業委員会等に関する

質問 替佐駅に駐車場を整備する考えはどうか。

答弁 駐車場整備は考えていないが、今後、送迎専用スペースを検討したい。

新市庁舎建設について

質問 少子化対策について



る法律が改正され、4月から施行された。法から農民の地位の向上等が削除されたが、委員会の役割はこれまで以上に重要になってくると思うがどうか。

答弁 農業委員会は農地を守り有効利用を促進すること、そして担い手を育成し応援することが、基本的な使命と考えている。

国民健康保険について

その他の質問

中野市立小学校及び中学校の修正規程等基本方針（案）の修正案について
阿部光則



質問 どのような理由で修正案に至ったのか。

答弁 昨年実施した市民説明会、保護者懇談会等で、多くの意見をいただいたためである。地域の方からは「学校をなくさないで」との意見もあった。一方、保護者からは「現状を非常に不安に思う」、「統合を早く進めてほしい」との意見があり、早急に教育環境を整えることが必要であると感じ、高社中学校区と豊田中

学校区については、方針どおり統合することとした。

質問 平成32年度に平岡・科野・倭・長丘の4小学校が統廃合される計画案である。小学校がなくなることで、地域の人口減少にますます拍車がかかることが懸念される。中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、人口減少をいかに食い止めるかが最重要課題である。両施策に矛盾があるのではないか。

保育行政について

質問 子ども・子育て支援新制度が始まって1年以上経過した。現在の状況は。

答弁 市内の公立保育所11園における利用状況は、本

農業振興について

質問 農業委員会等に関する





平成28年熊本地震後の防災 における考え方について

芦澤 孝 幸

質問 姉妹都市である大分県竹田市に被害があったが市の対応はどうか。

答弁 竹田市に対しては、地震発生直後から、被害状況や必要な物資等について常に連絡を行っていたが、先方より支援の要請がなく行っていない。

質問 今後の姉妹都市等への対応をどう考えるか。

答弁 これまでも、防災訓練への相互参加など交流を図っている。現在、更に、応援協定の申し込みもあり早急に検討していく。

質問 自主防災組織の防災訓練のあり方をどう考えるか。

答弁 今年度から自主防災組織へ育成策として、防災訓練等に対する補助制度を導入したところである。また、自主防災組織の更なる

強化に向け、今後リーダー講習会など実施していく。

美術品について

質問 小・中学校が管理する美術品の把握と管理方法はどうか。

答弁 小・中学校が管理する美術品については、寄附をいただいたものである。市の財務会計システムにて備品登録を行い把握しており、作品は出来る限り最善の環境で管理している。

質問 今後の展示をどう考えるか。

答弁 寄附をいただいた方の意志を尊重し、子どもた

ちや来校者に、作品を身近に感じてもらうことを大切に考え、よりよい環境で展示できるような努めていく。

奨学金について

質問 多くの中野市出身のスポーツ選手や芸術家が活躍されているが、スポーツ、芸術に対する奨学金創設の考えはどうか。

答弁 現在、該当する制度はないが、市内の団体やグループの育成を目的とした補助制度を設けており、スポーツ活動の振興及び音楽と文化芸術に親しむ環境づくりの促進を図っている。

質問 多くの家庭で民間金融機関の教育ローンを利用されていると思うが、教育ローンに対する補助はどうか。

答弁 子育て世帯に対する経済的負担の軽減策として有効であると思われるが、現在のところ考えていない。他市町村の状況を注視していく。



中野市内の公営住宅について

堀内 臣 夫

質問 若者たちが住みやすく、魅力を感じてもらえる中野市を目指すために、きめ細かく充実した住環境整備、とりわけ公営住宅整備が必要ではないか。

答弁 市営住宅ストックの有効活用と長寿命化を図るため、「中野市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、適切な管理・運営と居住環境の確保に努める。

質問 県は、地域の需要を踏まえた再建を図る観点か

ら、移管協議（建設25年後に無償譲渡）が整った団地において、老朽化した住宅を建て替えるとしている。本市の取り組みはどうか。

答弁 県等の動向を見ながら、今後研究する。

一本木公園について

質問 バラまつりの期間中の来園者数は減少傾向である。さらに魅力を高めるための整備が必要ではないか。

答弁 今後、様々な観点から研究していく。

質問 都市計画道路松川一本木線の進捗状況は。

答弁 平成27年度に概略設計を実施した結果、現計画どおりが最適であるとの結論となった。

質問 概略設計の内容は。

答弁 交通の安全性・円滑性を確保する停車場を設ける。歩道は車椅子2台がすれ違うことができるスペースを確保する。積雪時の道路交通並びに歩行者の通行を確保すること等の理由から、幅員16mとするものである。

松川駅周辺と同駅か



ら一本木公園までのおよそ350mの間を含めた整備はどうか。

答弁 この区間の一部では宅地開発も行われており、今後道路を活用した民間

活力に期待したい。

新市民会館について

質問 どのような検討がされているのか。

答弁 本市の財政状況を踏まえ、近隣市町村の整備状況を参考に、今年度中に一定の方向性を見出した。

まちづくりについて

質問 中野のまちのグランドデザインをどのように描いているのか。

答弁 今後、都市計画マスタープラン及び中心市街地活性化基本計画の見直しを予定している。

子育て支援について

永沢 清生



質問 中野市の未満児に対応する保育士の配置人数は、

0歳児3人、1歳児4人、2歳児6人に、それぞれ1

人と定めている。出産等により年度途中の入園児も多いが、未満児に対応する保育士の配置状況はどうか。
答弁 県条例に定める基準を満たすよう職員を配置している。年度途中の入所希望にも対応できるようにしている。

質問 保護者には、自宅や勤務先に近いこと等を理由とした、入園先の希望もあると思うが、その希望を十分考慮しているか。
答弁 保育所によつては年度当初に定員に達し、途中からの入所が難しい保育所もあるが、必要により職員

を配置し、できる限り希望する保育所に入所できるように努めている。

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案3件、予算案2件、事件案1件について6月3日及び6月16日に審査しました。

主なものは、条例案では中野市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案で、同条例の根拠

法における個人番号について、同法が規定する事務以外の事務においても利用するため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

予算案では、平成28年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、平成28年3月補正で国の地方創生加速化交付金事業として、前倒し計上して繰越した事業について、重複する事業

費の減額のほか、県の補助内示等に伴う事業費の増額等を行い、併せて地方債の補正を行うもので、補正総額1億6千4万4千円を追加し、補正後の予算総額は22億404万4千円となるもの。歳入では、国庫支出金1千41万5千円の増額、県支出金7千711万7千円の増額。歳出では、総務費の新庁舎整備事業費で用地取得費468万5千円の増額であり、原

案どおり可決されました。事件案では、防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事請負契約の締結について、防災行政無線のデジタル化を図るため、整備工事の請負契約を締結するものであり、原案どおり可決されました。そのほかの条例案2件及び予算案1件については、いずれも原案どおり可決されました。

市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。

次の市議会定例会は9月です。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案3件、予算案3件、事件案1件について、6月3日、6月15日及び6月16日に審査しました。

主なものは、条例案では指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスに関する2条例の一部改正条例案について、介護保険制度における国の基準省令の改正に伴い、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。予算案では、平成28年度中野市一般会計補正予算(第1号)について、歳出

のうち民生費では、(仮称)中野市新みなみ保育園建設工事費を1千800万円増額するものであり、原案どおり可決されました。

事件案では、(仮称)中野市新みなみ保育園建設工事(建築工事)請負契約の締結について、契約金額4億7千88万円で、同保育園の建築工事の契約を締結するものであり、原案のとおり可決されました。そのほかの条例案1件及び予算案2件については、いずれも原案どおり可決されました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案3件について、6月16日に審査しました。

主なものは、平成28年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、歳出のうち農林水産業費では、TPP関連事業で県からの補助を財源とする産地パワーアップ事業補助金6千828万6千円の増額など。商工費では、本年10月に

開催予定である「信州中野おごっそフェア」開催に係る補助金1千800万円の追加をし、同事業の開催に伴い開催を取りやめるイベントに対する補助金及び負担金の減額であり、原案どおり可決されました。

そのほかの予算案2件については、いずれも原案どおり可決されました。

表紙の写真

2016 信州なかのバラまつり

「信州なかのバラまつり」は、今年で23回目を迎えました。

「May the Rose be with you」をテーマに、5月



▶ばら講習会

28日から6月12日までの16日間、一本木公園を会場とし、盛大に開催されました。期間中は、3万8千人を超える皆さんが来園されました。

訪れた方々は、色鮮やかに輝くバラとともに、園内いっぱい響き渡る音楽やバラの専門家による講演会など各種イベントに参加され、バラまつりを楽しんでいられました。

■決議

議第1号

金子高幸議員に対する議員辞職勧告決議について

第4代後期議会だより

編集委員会名簿

(順不同)

委員長 松野 繁男
副委員長 原澤 年秋
委員 堀内 孝幸
芦澤 千晶
宇塚 臣夫
保科 政次
青木 正道
阿部 光則
永沢 清生
町田 博文

” ” ” ” ” ” ” ”

あとがき

平成28年も半年が過ぎました。本日に月日の経つのが早く感じられます。さて、議会だより編集委員会も新たな体制でスタートしました。議会と市民の皆さまを結ぶ大切なメディアであります。正確、かつ、分かり易い議会だよりの発行に委員一同努めて参りますので、よろしくお願ひします。

6月4日に天皇皇后両陛下が、高野辰之記念館をご訪問され、大勢の皆さんが迎えをされました。中野市にとって大変名譽なことであり、今回のご訪問を何らかの形で残せればと思っております。7月7日に(仮称)中野市新みなみ保育園の起工式が行われ、来年3月の卒園式を新しい園舎で行うべく工事が進められています。子ども達も保育園の完成を心待ちにしていることでしょう。素晴らしい保育環境が整うことを願ってやみません。